

製品名: アタキシン 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86494**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:87 kDa; Observed MW:105 kDa

抗原情報

遺伝子名	Ataxin 1
別名	ATX1; SCA1; D6S504E
遺伝子 ID	6310
SwissProt ID	P54253
免疫原	ヒトアタキシン 1 の組み換えタンパク質

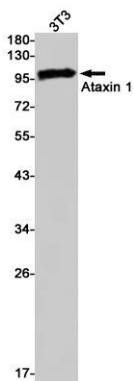
背景

常染色体優性小脳失調症（ADCA）は、小脳、脳幹、脊髄の進行性変性を特徴とする、異質な神経変性疾患群です。臨床的に

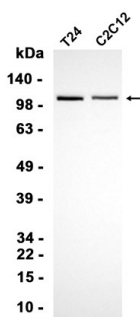
は、ADCA は ADCA タイプ I~III の 3 つのグループに分類されます。ADCAI は遺伝的に異質であり、脊髄小脳失調症 (SCA) 1、2、3、4、6 と呼ばれる 5 つの遺伝子座が 5 つの異なる染色体に割り当てられています。常に網膜変性 (SCA7) を呈する ADCAII と、しばしば「純粋」小脳症候群 (SCA5) と呼ばれる ADCAIII は、おそらく同質の疾患です。いくつかの SCA 遺伝子がクローン化され、そのコード領域に CAG リピートを含むことが示されています。ADCA は CAG リピートの拡大によって引き起こされ、対応するタンパク質に細長いポリグルタミン鎖を生成します。伸長したリピート配列のサイズは変動性があり不安定で、通常は世代交代とともにサイズが増大します。アタキシンの機能は不明です。この遺伝子座は 6 番染色体にマッピングされており、病的アレルは 40~83 個の CAG リピート配列を含む (正常アレルは 6~39 個) ことが判明しており、脊髄小脳失調症 1 型 (SCA1) と関連しています。この遺伝子には、同じタンパク質をコードする少なくとも 2 つの転写バリエーションが見つかっています。[RefSeq 提供、2016 年 7 月]

研究分野

画像データ



アタキシ 1 抗体 (1:1000 希釈) を使用した 3T3 細胞溶解物中のアタキシ 1 のウエスタンプロット検出。



AMRe86494 を 1:1000 で使用して、T24、C2C12 細胞抽出物のウエスタンプロット分析を行いました。